

1. 工事概要は1/4頁目の計画書に記入したものが3/4頁目に反映されます。

計画書(建り法11条通知対応)は1/4,2/4頁目に記入
実施書(建り法18条報告、センサ対応)は3/4,4/4頁目に記入

※最後に必ず印刷して確認してください。

表面

再生資源利用実施書

建設資材搬入工事用

「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再生資源化報告」、「H30建設副産物実態調査」対応版

発注機関の選択間違いに注意

元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入

1 工事概要		発注担当者チェック欄	法人番号	0123456789012	http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/		
発注機関を選択	大分類	国土交通省	発注機関コード	834700	請負会社名	(株)△建設	
	中分類	関東地方整備局	建設業許可の場合	00 国土交通大臣	建設業許可番号	0123456789012	
	小分類	大宮国道事務所	解体工事業者登録の場合	0	建設業許可番号	86000 その他の加盟団体又は団体に属さない	
発注機関を選択		担当者	建設太郎	TEL	0xx-xxx-xxxx	会社所在地	埼玉県さいたま市中央区大戸1-1-1
発注機関を選択		TEL	0xx-xxx-xxxx	TEL FAX	0xx-yyy-yyyy 0xx-yyv-zzzz	工事責任者	副産物太郎

工事名	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	工種を選択	改良(道)	工事種別コード	B-1	請負金額	10000
工事施工場所	埼玉県 さいたま市 中央区	住所コード	11105	工期	平成30年4月5日から 平成30年8月8日まで	着工年月費	竣工年月日
工事概要等	(再生資源の利用に関する特記事項等)						

万円単位

建築面積	0 m ²	階数	地上 0階 地下 0階
延床面積	0 m ²	構造	0
用途	0	便 途	0

※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。

2. 建設資材利用実施

単位と選択間違いに注意

分類	小分類	規格	主な利用用途	利用量 小数点第三位まで	再生資材の名称		再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元：施工条件 種類 内容	再生資材の供給元場所住所	再生資源 利用率 B/A×100	
					再生資材の名称 小数点第三位まで	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで					
特定 建設 資材	コンクリート	普通21-8-20		12,000 トン	再生コン(H)	5,000 トン	〇〇〇〇(株)×工場	6.他	埼玉県さいたま市緑区〇〇1-1-1	11109	100 %
	2.再コン(H)			5,000 トン							29 %
	合計			17,000 トン							
木材	コンクリート及び鉄から成る建設資材			0.000 トン							0 %
	合計			0.000 トン							0 %
	アスファルト	1.粗粒		20,000 トン	1.再粗粒	20,000 トン	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100 %
2.密粒			10,000 トン	2.再密粒	10,000 トン	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	11107	100 %	
合計			30,000 トン								100 %
土砂	1.一種			16,000 締めm ³	1.一種	16,000 締めm ³	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100 %
	合計			16,000 締めm ³							100 %
	砕石	1.クラ		20,000 m ³	1.再クラ	20,000 m ³	〇〇〇〇道路舗装修繕工事	1.現場内	埼玉県さいたま市中央区〇〇〇1-1-1	11105	100 %
2.粒調			695,000 m ³	2.再粒調	695,000 m ³	〇〇道路(株)×工場	4.再資源	埼玉県川口市〇〇〇3-2-1	11203	100 %	
合計			715,000 m ³								100 %
その他の建設資材	塩化ビニル管			0.000 トン							0 %
継手				0.000 トン							0 %
石膏ボード				0.000 トン							0 %
合計				0.000 トン							0 %

現場内利用があった場合は、次頁の2.建設副産物搬出実施にも必ず記入

エクセル印刷範囲外にある住所コード検索機能で検索し、転記。転記間違いに注意

品目毎の供給元施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

コード*5
コンクリートについて

- 1.生コン(バーজন骨材)
- 2.再生生コン(Co再生骨材H)
- 3.再生生コン(Co再生骨材M)
- 4.再生生コン(Co再生骨材L)
- 5.再生生コン(その他再生材)
- 6.無筋コンクリート二次製品(バーজন骨材)
- 7.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
- 8.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
- 9.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
- 10.その他

コード*6
アスファルト・コンクリートについて

- 1.表層
- 2.基層
- 3.上層路盤
- 4.歩道
- 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)
- 6.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
- 7.ほか場整備(農地整備)
- 8.その他

コード*7
コンクリートについて

- 1.再生生コン(Co再生骨材H)
- 2.再生生コン(Co再生骨材M)
- 3.再生生コン(Co再生骨材L)
- 4.再生生コン(その他再生材)
- 5.無筋コンクリート二次製品(リユース品)
- 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材)
- 7.再生無筋コンクリート二次製品(その他再生材)
- 8.その他

コード*8
再生資材の供給元について

- 1.現場内利用
- 2.他工事現場(内陸)
- 3.他工事現場(海面)
- 4.再資源化施設
- 5.土砂ストックヤード
- 6.その他

コード*9
施工条件について

- 1.再生材の利用の指示あり
- 2.再生材の利用の指示なし

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください。

様式2 再生資源利用促進実施書 ー建設副産物搬出工事用ー

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工事用は解体分と新築分に分けてエクセルファイルを作成

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は、シート2枚目以降を利用してください

単位間違いに注意

建設副産物の種類	①発生量 (削減等) =②+③+④ 小数第三位まで	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率 ②+③+⑤ (%)
		用途コード*10	②利用量	③減量化量	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード*4	運搬距離 千メートル	搬出先の種類	④現場外搬出量 小数第三位まで	うち現場内改良分	⑤再生資源利用促進量	
コンクリート塊	112,000 トン	路盤材	40,000 トン		搬出先1: ○○リサイクル(株)○○工場	民間		埼玉県上尾市××1-2-3	1219	10	5中合外	72,000 トン		72 トン	100%
建設発生木材A (木材、製材など)	10,000 トン				搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		埼玉県川越市△△2-2-2	1201	15	5中合外	8,000 トン		8 トン	80%
アスファルト・コンクリート塊	302,000 トン				搬出先1: (株)○○ 中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区□□3-3-3	1106	5	7焼却				
その他がれき類	1,000 トン				搬出先1: ○○道路(株)××工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区××2-2-2	1107	15	5中合外				
建設発生木材B (はく、製材など)	2,000 トン				搬出先1: □□処分場	民間		1-2-3	1107	15	5内陸処分	1,000 トン		0 トン	0%
建設汚泥	300,000 トン				搬出先1: ○○(株)チップ化工場	民間		2-2	1201	15	5中合外	2,000 トン		2 トン	100%
金属くず	27,000 トン				搬出先1: △△(株)	民間		6-6	13123	40	5中合外	300,000 トン		300 トン	100%
廃塩化ビニル管・継手	1,200 トン				搬出先1: ○○金属(株)	民間		7-7-7	1107	13	1売却	27,000 トン		27 トン	100%
廃プラスチック (廃塩化ビニル管・継手を除く)	1,800 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間		4-4	1219	15	5中合外	1,200 トン		1.2 トン	100%
廃石膏ボード	0.00 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間		埼玉県上尾市■4-4-4	1219	15	5中合外	1,800 トン		1.8 トン	100%
紙くず	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間									
アスベスト (飛散性)	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間									
その他の分別された廃棄物	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間									
混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	0.000 トン				搬出先1: ○○リサイクルセンター	民間									
第一種建設発生土	2020,000 地山m ³	裏込材	20,000 地山m ³		搬出先1: ■■■■工事	公共	A指定処分	東京都港区○○7-10-20	13103	33	2他工場	1,300,000 地山m ³		2000 地山m ³	100%
第二種建設発生土	0.000 地山m ³				搬出先2: ☆☆☆☆工事	民間	A指定処分	東京都足立区○○3-2-1	13121	28	5他工場	700,000 地山m ³		0 地山m ³	0%
第三種建設発生土	1025,000 地山m ³				搬出先1: ★★★★★工事	公共	A指定処分	東京都港区××1-3-5	13103	32	2他工場	603,000 地山m ³		633 地山m ³	59%
第四種建設発生土	0.000 地山m ³				搬出先2: ○○○○受入場	民間	A指定処分	埼玉県浦和市○○4-4-4	1231	20	10土捨て	422,000 地山m ³		0 地山m ³	0%
浸漬土以外の肥土	0.000 地山m ³				搬出先1: ○○○○受入場	民間									
浸漬土 (建設汚泥を除く)	0.000 地山m ³				搬出先2: ○○○○受入場	民間									
合計	3945,000 地山m ³		20,000 地山m ³	0.000 地山m ³								3025,000 地山m ³	0.000 地山m ³	2603 地山m ³	86%

現場内利用があった場合は、前頁の2.建設資材利用実施にも必ず記入

品目毎の搬出先施設、工事等が3箇所以上ある場合は、シート2枚目以降を利用してください。

選択間違いに注意

コード*10

1.路盤材	2.裏込材
3.埋戻し材	4.その他

コード*11

1.焼却	2.脱水
3.天日乾燥	4.その他

コード*12
施工条件について

1.A指定処分 (発注時に指定されたもの)	8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)	9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)
3.自由処分	

コード*13
(建設廃棄物の場合)

1.売却	2.他の工事現場	3.広域認定制度による処理	4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)	5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)	6.中間処理施設(サーマルリサイクル)	7.中間処理施設(単焼却)
8.建設発生土の場合	1.売却	2.他の工事現場(内陸)	3.他の工事現場(海面)	4.土質改良プラント	5.工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)	6.3.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31.32.33.34.35.36.37.38.39.40.41.42.43.44.45.46.47.48.49.50.51.52.53.54.55.56.57.58.59.60.61.62.63.64.65.66.67.68.69.70.71.72.73.74.75.76.77.78.79.80.81.82.83.84.85.86.87.88.89.90.91.92.93.94.95.96.97.98.99.100.

注記) 一般廃棄物は記入しないで下さい。土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

距離は整数入力 ※ 6.9.10へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。